

平成最後の

ほん バナ

取手市立図書館発行 vol.57

H31 2019.4 〈季刊号〉

<https://www.toride-toshokan.jp>

中高生向け本の情報紙

平成最後のほんバナです。

ほんバナは、中高生のみんなと楽しい本のお話を気楽にできたらいいな、ということで平成19年にスタートしました。(最初のおすすめ本は『ぼくらの七日間戦争』(宗田理・著 ポプラ社)でした。)12年目の今年も、おすすめの本のお話をしゃべりみたいに紹介するね。気になったら、いつか読んでみて。

Recommend

「自分にむかって、ぼくは知らなかった、とは絶対に言っちゃいけない。」



実在の人物ヒトラーが登場する物語。純粋な少年ピエロが、ヒトラーにあこがれてどんどん変わっていく様が、読んでいて本当に苦しかった。苦しいけどやめられなくて一気に読み。大きな力に巻き込まれていく恐さを感じたよ。

『ヒトラーと暮らした少年』少年ピエロは、両親の死により叔母に引き取られる。そこはヒトラーの暮らす山荘だった。ピエロは、ヒトラーに惹かれ、次第に変わりはじめる…。(ジョン・ボイン/著 原田勝/訳 あすなろ書房)

つまみ読みのすすめ。

誰かのおすすめや、話題になった本はぜひ読んでみて。全ページ読まなくても、つまみ読みでいいよ。沢山つまみ読みしているうちに、自分の世界が広がって、楽しくなってくるよ。

絵本のすすめ。

絵本って、時間がなくてもササッと読めるところがいいよね。「絵本は小さい子のモノ」なんて言わないで読んでみて。図書館が絵本を紹介している“うちどくチラシ”の中では★★★（★マーク3つ）の絵本が特におすすめだよ。ビジュアル系の本、っていう感覚で読んでみてくれたらいいな。

新しい本のすすめ。

図書館は、毎月約 **1,000 冊**の本を購入しているよ。HP もみてね！

<https://www.toride-toshokan.jp/TOSHOW/asp/WwNewBook.aspx>

Recommend

「ほとんどの人は刑務所というところを誤解している。

なぜそんなことが言えるかって？じつは、僕自身、実際に刑務所に服役したことがあるんだ。」



この本で、刑務所のイメージが180度変わったよ。裁判官、検察官、弁護士、福祉の仕事を目指す人へ…いや、みんなにすすめたくな。著者は服役経験者。

『刑務所しか居場所がない人たち』刑務所って、とんでもない患者がいる場所って思ってた？実は、認知症や障害のある人もいるんだ。どうしてそんなことになるのだと思う？病気や障害があることと、罪を犯しやすいこととは全く関係がないのに…。(山本譲司／著 大月書店)